

剣 道 実 施 要 項

I 男子団体の部

1. 期 日
平成 30 年 7 月 7 日（土）
2. 会 場
富山県営富山武道館 剣道場
3. チーム人員
監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、
選手 7 名以内（試合者 5 名）、計 10 名以内
4. 競 技 方 法
(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国
高専申し合わせ事項による。
(2) リーグ法とし、勝敗数法で行う。
(3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、勝敗が決しないときは
、1 回だけ 2 分の延長戦を行い、有効打突がないときは
引き分けとする。
(4) 団体戦を 2 試合場で行う場合には、試合間に 5 分間の
インターバルを設ける。
(5) 団体の勝敗で勝者数が同数で総本数も同数のときは引
き分けとする。
(6) リーグ法の順位の決定は、勝ちを 1 点、引き分けを 0.5
点、負けを 0 点として勝点の多い順に決定する。勝点が
同数のときは勝者数の多い方を上位とし、なお、勝点、
勝者数が同数のときは総本数が多い方を上位とする。さ
らに、総本数が同数の場合は代表者戦によって順位を決
する。代表者戦は任意の選手により行い、先取 1 本勝ち
とする。時間を区切らず勝敗が決するまで行う。代表者
戦は同一選手の出場とする。
(7) オーダーは前試合終了後速やかに提出し、試合者は試
合毎に組み替えてもよい。但し、チームの人数が 3 名の
場合は先鋒・中堅・大将に、4 名の場合は先鋒・中堅・
副将・大将に選手を置いてオーダーを組むこととする。
5. 表 彰
(1) 表彰は 1 位～3 位までに賞状を授与し、1 位に優勝杯を
授与する。
(2) 優勝チームは全国高等専門学校体育大会剣道競技団体
の部の出場権を得るものとする。
6. そ の 他
(1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2) 竹刀はゲージをパスしたもの。
(3) 4 年生以上は、長さ 120 cm 以下、重さは 510g 以上と
し、3 年生以下は、長さ 117cm 以下、重さは 480 g 以上
とする。いずれも先革の太さは 26mm 以上とする。
(4) 監督者会議を会場にて 12 時 00 分より行う。

II 男子個人の部

1. 期 日
平成 30 年 7 月 8 日（日）
2. 会 場
富山県営富山武道館 剣道場
3. 出 場 人 員
監督 1 名、選手 8 名以内
4. 競 技 方 法
(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国
高専申し合わせ事項による。
(2) トーナメント法による。
(3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、制限時間に勝敗が決しな
いときは延長戦を行い、先に 1 本取った者を勝ちとする
。但し、延長戦は時間を区切らず勝敗の決するまで行う
。
(4) 個人戦において連戦となる場合は、2 分間のインターバ
ルを設ける。
5. 表 彰
(1) 表彰は 1 位～3 位までに賞状を授与する。
(2) 上位 2 名は、全国高等専門学校体育大会剣道競技個人
の部の出場権を得るものとする。
6. そ の 他
(1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2) 竹刀ゲージをパスしたもの。
(3) 4 年生以上は、長さ 120 cm 以下、重さは 510g 以上と
し、3 年生以下は、長さ 117cm 以下、重さは 480 g 以上
とする。いずれも先革の太さは 26mm 以上とする。

III 女子団体の部

1. 期 日
平成 30 年 7 月 7 日（土）男子団体の部終了後
2. 会 場
富山県営富山武道館 剣道場
3. チーム人員
監督 1 名、コーチ 1 名、マネージャー 1 名、
選手 5 名以内（試合者 3 名）、計 8 名以内
4. 競 技 方 法
(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国
高専申し合わせ事項による。
(2) リーグ法とし、勝敗数法で行う。
(3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、勝敗が決しないときは
、1 回だけ 2 分の延長戦を行い、有効打突がないときは
引き分けとする。
(4) 団体戦を 2 試合場で行う場合には、試合間に 5 分間の
インターバルを設ける。
(5) 団体の勝敗で勝者数が同数で総本数も同数のときは引
き分けとする。
(6) リーグ法の順位の決定は、勝ちを 1 点、引き分けを 0.5
点、負けを 0 点として勝点の多い順に決定する。勝点が
同数のときは勝者数の多い方を上位とし、また、勝点、
勝者数が同数のときは総本数が多い方を上位とする。さ
らに、総本数が同数の場合は代表者戦によって順位を決
する。代表者戦は任意の選手により行い、先取 1 本勝ち
とする。時間を区切らず勝敗が決するまで行う。代表者
戦は同一選手の出場とする。
(7) オーダーは前試合の中堅戦開始までに提出し、試合者
は試合毎に組み替えてもよい。但し、チームの人数が 2 名の場合は先鋒・大将に選手を
置いてオーダーを組むこととする。
5. 表 彰
(1) 表彰は 1 位～3 位までに賞状を授与し、1 位に優勝杯
を授与する。
(2) 優勝チームは全国高等専門学校体育大会剣道競技団体
の部の出場権を得るものとする。
6. そ の 他
(1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2) 竹刀ゲージをパスしたもの。
(3) 4 年生以上は、長さ 120 cm 以下、重さは 440g 以上とし、
3 年生以下は、長さ 117 cm 以下、重さは 420 g 以上とす
る。いずれも先革の太さは 25mm 以上とする。
(4) 監督者会議を会場にて 12 時 00 分より行う

IV 女子個人の部

1. 期 日
平成 30 年 7 月 8 日（日）男子個人の部終了後
2. 会 場
富山県営富山武道館 剣道場
3. 出 場 人 員
監督 1 名、選手は制限なし
4. 競 技 方 法
(1) 全日本剣道連盟剣道試合審判規則、同細則並びに全国
高専申し合わせ事項による。
(2) トーナメント法による。
(3) 試合時間は 4 分 3 本勝負とし、その他は男子の競技実
施要項に準ずる。
(4) 男子個人戦の終了後、女子個人戦の開始前に 15 分程度
のインターバルを設ける。
5. 表 彰
(1) 表彰は 1 位～3 位までに賞状を授与する。
(2) 上位 1 名は、全国高等専門学校体育大会剣道競技個人
の部の出場権を得るものとする。
6. そ の 他
(1) 竹刀は検印を受けたものを用いること。
(2) 竹刀ゲージをパスしたもの。
(3) 4 年生以上は、長さ 120 cm 以下、重さは 440g 以上と
し、3 年生以下は、長さ 117 cm 以下、重さは 420 g 以上
とする。いずれも先革の太さは 25mm 以上とする。

劍 道 実 施 要 項